

これから進む道は人それぞれ、様々ですが、いずれにしても素敵な大人になってください。
（上野真宏）

受験、卒業、そして新しい一年が始まる。苦勞して努力した分だけ、成長できる。何もしなければ何も得られない。さあ、学び続けよう。
（大場健司）

ご卒業おめでとうございませう。成功者は必ず「時間」という人生最大の財産に投資しています。皆さんもぜひこれからの一瞬一瞬を大切にしてください。
（村田寛之）

卒業おめでとうございませう！これから、やりたいことに思い切り打ち込んで、充実した学生生活を送ってください！応援しています！
（富田宏美）

長い受験勉強、本当にお疲れ様でした。今回の受験を通じてそれぞれ様々な感情を経験し、心身ともに一回りたくましくなったことと思います。受験を終えたばかりの今の気持ちと、多くの人にお世話になったことを、どうか忘れないで。卒業おめでとう。
（神山仁）

卒業おめでとうございませう！ただ、これで終わりではありません。ここからがまた始まりです。この先、つらいことや苦しいこともあるでしょう。でもそれ以上に楽しいことや嬉しいことが必ずあります。これから前を向いて頑張ってください！
（佐々木洸介）



一日も早く新たな一歩を踏み出しましょう。人生は有限なので。その澄んだ瞳で未来を見続けましょう。君たち自身が可能性そのものです。無事に卒業できるのは、誰かが支えていたからです。感謝しましょう。私も君たちに支えられていました。ありがとう、そして卒業おめでとう！
（五日市浩）

ご卒業おめでとうございませう。これからも様々な困難にぶつかると思いますが、創学舎に通ったみなさんなら乗り越えられるはずですよ。高校生活とその後的人生思い切り楽しんでください。いつでも創学舎に遊びに来てください！
（亀高樹弥）

積極的、建設的、自由闊達に生きていくために深く広く学び、そして新しい時代を模索しましょう。
（柳善一）

卒業おめでとうございませう。これから先、周りの目や、他の人と比べて自分はどうなのか気になることが増えるかと思いますが、宇宙のスケールと比べれば、全人類が塵芥。比べることは無意味です。理想の自分だけを見据えて、歩み続けてください。
（若下正和）

大変で苦しかった受験勉強。家族や友人の存在の有り難さを再認識できたと思います。この経験を忘れずに、そして感謝して、次のステージも頑張ってください。卒業おめでとう！
（長坂浩之）

卒業おめでとうございませう。新しい出会い、新しい取り組み、新しい環境……新しいことがたくさんあるってわくわくしませんか。遠慮することも臆することもありません。まずは自分らしくあってください。どんな新しいことにチャレンジし、自身の可能性を自らの手で広げていってください。
（青木隆二）

卒業おめでとうございませう。四月からは新しい生活が始まります。人との出会いを大切にしながら、充実した日々を送りましょう。受験で努力したことを次の生活の糧に頑張ってください。
（村上静馬）

「この年のこの月この時この刹那」精一杯に生きて楽しんでください。皆さんが真剣に学習していた姿を見るのはとても嬉しかったです。一生懸命に努力する姿を笑顔でみせてくれてどうもありがとう。創学舎に通ってくれてありがとう。会えなくなるのはさみしいです。たまに顔を見せてください。卒業おめでとう！（関野光希子）

卒業おめでとうございませう。人生は選択の連続です。これから多くの選択を迫られることになると思います。選択に悩んだら、自分を信じて行動してください。
（矢上有二）



卒業おめでとうございませう。これからは今まで以上に楽しいこと、辛いことあると思いますが、是非充実した高校生活を送ってください。応援しています。
（宇井直也）

卒業おめでとう。今までの人生でお世話になった方に感謝しつつ、これからの人生にエネルギーを燃やそう。人生はまだまだ続く。目標を設定して歩み続けてください。
（松永弘文）

卒業おめでとうございませう。高校でも自分の可能性を信じて、新しいことに挑戦し続けてください。人生山あり谷あり、乗り越えた先に栄光あり！
（平野陽大）

人事を尽くしたかい？それならばいよいよ！今回の結果がいずれであれ、キミは間違いなく正しい道を歩み、より高いステップに上がった。与えられた道を邁進しなさい。
（澤田秀樹）

ご卒業おめでとうございませう。「受験勉強をする」という道のりを乗り越えて、さらに成長すると思いますが、大人になってもまだまだ成長できるので、これからも一生懸命頑張れるように願っています。
（梅木健二）

受験勉強お疲れ様でした。新たな場所での部活、勉強、友人恋、楽しく充実した日々を過ごしてくれれば幸いです。街で見かけたらぜひ声をかけてください！
（上田悠介）

長かった受験も一つの経験です。これからの財産になります。これを糧に今後困難があっても乗り越えてくれると信じています。
（岡本武）

いつもキミを支えてくれていた人たちに感謝しましょう。目を見て、自分の言葉で、感謝の気持ちを伝えましょう。今までありがとうございませう。卒業おめでとう。
（高寺大介）

受験という試験の門を通過した皆さん、お疲れ様。でも、いずれ君たちは気付く。通過した門とは自分自身そのものだったことに。本当は門などなかった。いや、門はどこにでもある。自分の甘さ、自分の弱さとの戦いが、再び始まる。
（片岡秀樹）

学校の勉強がそのまま役に立つことはないかもしれない。しかし、自分が何に向いているのか、興味を持っているのか、勉強したから、わかることもある。やりたいことを見つけた時に、役立つこともある。勉強が嫌いでもいい、知識が役に立たなくてもいい。【学び方は生き方となる。】

勉強とはいかに自分が知らないかを知ること。この一年の学びはきつと君たちの未来を明るく照らしてくれる。
（松尾裕史）

遙か長い道のりを歩き始めた君に幸せあれ！
（鮎澤崇嗣）

卒業生に対し、毎年思うことは「一緒に過ごしてくれてありがとう」ということです。そのような素晴らしい君たちの門出を祝して乾杯したいと思います。みんな、グラスの用意はよろしいですか。「卒業おめでとう！乾杯！」おっと、君たちはジュースでね。
（山崎将之）

みなさんは受験というものを通してそれぞれ自分と向き合い闘ったことと思います。この経験は実に貴重なもの。受験の結果はどうあれ、この得難い体験を忘れず、今後の人生を力強く生きてほしいと切に願います。
（高橋力）

この一年間、皆さんと関わることで、本当に嬉しく思います。卒業はゴールではなく、新たな始まりです。夢の実現に向け、邁進してください。応援しています。幸多かれ。
（阿部俊一）

スマホに毎日三時間使い三年間（四年間）過ごす人と、三時間を読書や勉強にあてる人では、学力だけではなく、人としても大きな差がつくことを忘れるな。健康に留意、親に感謝、友人を大事に、学び、世の中のことを知り、自分を知り、自分がなれる最高の自分になれ。
（小林健輔）

卒業おめでとう

●今年も、創学舎では、多くの生徒が卒業を迎えた。慣れ親しんだ校舎、教師、友人との別れであり、また新しい場所、新しい人達との出会いの始まりでもある。振り返れば、様々な出来事があったに違いない。楽しいこともあっただろうが、それだけではなかったはずだ。また、新しい生活のスタートを、不意な形で切らなければならぬ人もたくさんいると思う。そして不満と不安を抱えたまま、動き出せずにいるかもしれない。

●そういう人達も含めて、声高らかに言おう。「卒業おめでとう。」

●さて、何がおめでたいのか？それはこういうことなのだ。

●「卒業」は何よりも、きみ達がここまで生きて成長してきたことを、目に見える形で確認する儀式なのだ。そのことを、きみ達に関わってきた周囲の人々が確かめ、何よりもきみ達が自分で確かめるのだ。だから、きみの周りのみんなが喜ぶのだ。勿論きみも喜ばねばならない。

●卒業は「別れ」であるが、「新たな生活の始まり」でもある。きみ達は、これから、新しい場所、初めての人と出会い、また大切な何年かを過ごすことになる。そういう意味では、卒業はきみ達に先へ進むことを強いる儀式である。だから、きみ達は立ち止まってはいけない。希望と勇気を持ち、新たな目標へと向けて、進んでいくのだ。がんばれ。

●ところで、塾というのはいまいな存在で、受験というハードルがあるからこそ成り立っているものだ。そのハードルを越えるという目標をきみ達が持ったが故に、きみ達はこの塾に来た。そして、私達の役目はきみ達の目標突破に力を貸すこと。だから、この時期になるといつも思う。私達はきみ達の期待に十分応えることができただろうか。きみ達の願いを私達は受け止められただろうか。私達の思いはきみ達に伝

わったのだろうか……。そしてまた思う。きみ達に会えて本当に良かった。きみ達の顔も声も涙も笑顔もしばらくは忘れないだろう。何よりきみ達は、昔の私達（今もそうである）と同じく、人生の目標を探しその目標に向かう同志であつた。

●ここで先に生まれたものとして言っておく。今の社会は、きみ達の眼には、醜悪に見えるかもしれない。今の大人は、情けなく見えるかもしれない。しかし、しかし、きみ達は、今の日本という社会で生きている。そして、その社会を作った大人達の一員である親のおかげで生きている。そして親はいえ、大部分の親はその人なりに一生懸命生きているし、きみ達を支えている。このことは認めておいてほしい。ただ、うまくいかないだけなのだ。収入はあっても、生きがいを持ってない（イヤ、その収入を得るだけでも大変だ）。創造的な仕事をしたいがそのためにどうすればいいのかわからない。自分の勤める会社がこの先大丈夫なのか不安でも職を辞したら食っていけない。大人達はこういうジレンマの中で生きているのだ。まさに生きることは大変なのだ。そのことは理解しなさい。

そして、きみ達！出来るなら、そういう大人達を超える人間になれ。そのためには、努力をしなければならぬ。人が持つ能力には勿論差があるが、それは大したことではない。自分の持つ能力を精一杯出すことが大切だ。そのときの充実感、また次の行動へと向かうエネルギーを与えてくれる。そして、もう一つ。世の中には、ささやかでも立派に生きている人達はたくさんいる。そういう人達に、一人でも多く出会うことだ。これもまた、きみ達に新たなエネルギーを与えてくれるはずだ。

●最後に、失意の日々を送る人達（特に大学受験に失敗した人達）へ。人間が目標を見付けてそれに打ち込める機会は少ない。そういう機会を持ってない人達も大勢いるのだ。その数少ない機会に、きみ達はもう一年向かうことが出来るのだ。素晴らしいことではないか。不安におび

える必要はない。今度こそ、自分の願望を大切にし、自分の能力を出すことの喜びを十分に味わってほしい。きみ達には、その資格があるのだ。勿論、困ったときはいつでも来てもらいたい。健闘を祈っている。

●さあ、いよいよお別れだ。健康に留意し、心を広く、友を大事にし、家族に感謝し、豊かな趣味を持ち、自分が心から望むものを見つけ、しかし世の中の害になることはせず、道を拓き、自分になれる最高の自分になれ。（小林）



創学舎 創立四十周年 キャンペーン①親子割

創学舎は、二〇二五年夏で**創立四十周年**を迎えます。三月から、小学部の科目選択の幅を拡げ、小・中学部の時間帯を早めるなどのリニューアルを実施していますが、今後様々なキャンペーン企画も温めています。

第一弾として始まったのは、**親子割**。

従来の兄弟姉妹割引（二人目以降の入塾金免除。集団教室同時在籍の場合、金額の少ない方を授業料半額、三人目以降は授業料四分の一！）に加え、保護者の方がかつて創学舎に在籍の場合も**入塾金が免除**となります。

四十年間同じ地域で塾を続けていると、保護者面談で「実は私も昔、創学舎生だったんですよ」と懐かしそうに告げてくださる保護者の方が現れてきました。四十周年を機会にまずは親子で通ってくださる方への感謝を込めてのスタートです。次の八十周年には孫の入塾で使える三代割を設けたいと思います。

2025 高校入試 合格実績

公立高校				私立高校			
東葛飾	10名*	茨城県立土浦第一	2名	市川	2名	昭和学院秀英	1名
小金	10名	茨城県立竜ヶ崎第一	1名	芝浦工業大学柏	10名	江戸川学園取手	3名
県立柏	24名	鎌ヶ谷	7名	茗溪学園	1名	専修大学松戸	15名
柏南	16名	国府台	1名	日本大学習志野	1名	明治学院	2名
茨城県立藤代	2名	松戸国際	2名	成田	2名	駒込	4名
埼玉県立越谷南	1名	柏の葉	5名	東洋大学京北	1名	国府台女子学院	1名
柏中央	10名	我孫子	13名	麗澤	7名	千葉日本大学第一	2名
流山おおたかの森	7名	県立松戸	1名	春日部共栄	1名	流通経済大学付属柏	41名
茨城県立取手第二	2名	松戸六実	3名	八千代松陰	1名	土浦日本大学	41名
柏陵	5名	市立柏	2名	日本大学第一	1名	東洋大学附属牛久	45名
				光英VERITAS	1名	二松學舎大学附属柏	17名

* 内部進学 1 名含む 他多数